

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	超高精細CTによる胃壁構造や胃癌深達度の描出能に関する検討		
② 実施予定期間	2022年3月1日から2026年3月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で超高精細CTを受けられた胃癌の患者さん		
④ 対象期間	2019年1月1日から2021年8月31日を対象期間とし、追跡期間として2021年12月31日までの情報を収集します		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第一内科、第一外科、第二外科、放射線科		
⑦ 研究責任者	氏名	伊東克能	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、生年月、性別、既往歴、現病歴、前治療、CT画像、病理診断、内視鏡所見、予後・転帰		
⑨ 研究の概要	<p>胃癌は胃壁深達度により治療法が変わるため、治療前の正確な深達度診断は重要です。現状では、胃癌の病期診断におけるCTの役割は主にリンパ節転移や他臓器転移の評価が主体で、深達度診断は超音波内視鏡で評価されることが一般的となっています。従来のCT画像では胃壁構造の正確な評価を行うことは難しく、CT画像での胃癌の深達度診断は内視鏡検査より劣っています。近年開発された超高精細CTを当院では2018年11月12日より撮影を開始しており、それを用いて胃壁構造の正確な評価が可能となれば、治療前の胃癌の深達度評価がより正確となる可能性があります。</p> <p>本研究の目的は、胃癌の日常診療で撮影された超高精細CTの画像を用いて、胃壁構造や胃癌の描出能を解析することです。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2024年2月28日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。		
⑯ 利益相反	ありません		

⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：田邊雅也		
	電話	0836-22-2283	FAX 0836-22-2285